

# 会告

- 溶接学会全国大会講演概要のデジタル化のお知らせ
- 平成 27 年度春季全国大会  
インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について
- 平成 27 年度春季全国大会「研究発表」講演募集
- 溶接学会全国大会講演分類
- 全国大会講演概要原稿執筆要領
- Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting
- 全国大会講演プログラム校正の電子化について
- 全国大会における液晶プロジェクターの利用について
- 平成 27 年度春季全国大会フォーラム講演募集
- WEB 掲載の溶接学会論文集 32 巻（平成 26 年度）の印刷物の購入について
- 一般社団法人溶接学会 年会費改定について
- 国際溶接学会（IIW）グランジョン賞の応募について
- 第 42 回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会&講演会）

## 溶接学会全国大会講演概要のデジタル化のお知らせ

### 1. 全国大会講演概要はデジタル化されます

平成 27 年度春季全国大会より全国大会講演概要がデジタル化されます。全国大会運営委員会では、学会員の皆さんにとって魅力のある全国大会を目指し、議論を重ねて参りました。その第一弾は、平成 25 年度秋季大会より開始しました「ポスターセッション」です。また、続く第二弾は、平成 26 年度春季大会より開始しました「優秀な口頭発表に対するエクスプレス投稿の特典贈呈」です。そして、今回、第三弾として、講演概要のデジタル化を実施いたします。

タブレット端末やスマホなどモバイルツールが普及する今日、何時でも何処でも気軽に講演概要の内容をチェックしていただけるとともに、図表がカラーとなりますので、より一層、内容の理解も容易に深まるものと思います。加えて、印刷・製本する時間を節約できますので、講概要の原稿提出の締切日を従来よりも遅く設定できる予定です。これは、最新で速報性の高いステート・オブ・ジ・アートな内容を盛り込む上で、講演者にとって朗報です。

全国大会運営委員会では、「いいね！全国大会」をスローガンに、新たに第四弾、第五弾の魅力あるサービスを考えて参りたいと思います。デジタル化に伴い講演概要の取り扱い、講演概要の配布方法、全国大会参加登録方法が変わりますので、以下にご案内申し上げます。

### 2. デジタル講演概要

全ての一般講演概要は、大会終了の 2 ヶ月後に J-Stage\*で公開されます。講演概要への非掲載や J-Stage での非公開を希望する講演はいつさい受付いたしません。

### 3. デジタル講演概要の配布方法

配布方法はホームページからのダウンロードのみとなります。従前の冊子など印刷物としての配布は廃止いたします。ダウンロードができる期間は、全国大会開催の 1 ヶ月前から J-Stage 公開日迄です。

- 会員、賛助会員** 後述の全国大会参加登録を完了いただいた際に、デジタル講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail でお知らせします。
- 非会員** 後述の全国大会参加登録を完了いただいた際に、抄録集のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail で送付します。講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードは、全国大会会場での受付の際にお知らせします。

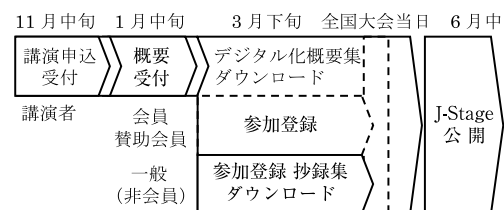
### 4. 参加登録方法

参加登録は事前にホームページで行ってください。概要集のデ

ジタル化に伴い、参加費に講演概要の閲覧・取得も含まれるようになります。従前のように、参加費と講演概要購入費が別々になっておりませんので、ご注意ください。平成 27 年度春季全国大会からの新しい参加費は、正員・賛助員 10,000 円、学生員 5,000 円、非会員（一般）20,000 円、非会員（学生）10,000 円を予定しています。従前の参加費と講演概要購入費の合計金額よりも割安になってお得になりました（非会員を除く）。

参加費の支払い方法につきましては、従前どおりです。全国大会開催中の受付で現金のみの支払いとなります。また、参加登録後の取消しは認めません。参加登録後、諸事情にて大会会場に会場できない場合には、代理の方に参加費の支払いをしていただくか、後日、学会へ直接お支払いいただくこととなります。なお、講演者は、講演登録と同時に自動的に参加登録を行った扱いとなりますので、別途、参加登録は不要です。講演概要が公開された際にデジタル講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail でお知らせします。

以下にデジタル化に伴う講演申込、概要受付、参加登録、講演概要ダウンロード、J-Stage 公開までの時間的な流れを図示しました。



<<< ご注意ください!! >>>>

#### ●紙書籍の全国大会講演概要は発行しません

デジタル化に伴い、紙書籍の講演概要は発行いたしません。また、全国大会会場での印刷サービスはございませんので、紙面への印刷は予めご自身でご用意ください。

#### ●会場でのインターネット接続サービスはありません

会場でインターネット接続をご希望の方は、モバイル通信が可能な携帯端末などをご自身でご用意ください。会場にお越しになる前にデジタル講演概要をダウンロードし、携行するパソコン、タブレット端末、スマホなどに保存されることを推奨します。

\*J-Stage：独立行政法人科学技術振興機構（JST）が運営する総合学術電子ジャーナルサイト

## 平成27年度春季全国大会 インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について

本会ホームページ「全国大会の案内」からお申し込み下さい。  
なお、申込及び原稿提出は、インターネット利用のみとなります  
のでご注意ください。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領（和文、  
英文）、講演プログラム校正の電子化、フォーラム論文募集、液晶  
プロジェクターの利用について等講演及び大会に関する情報に  
ついては、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、  
ご確認ください。

講演申込及び原稿提出につきましては、受付期間が下記のと  
うに限定されておりますのでご注意ください。

**申込受付期間：11月20日12:00～12月11日14:00**

**原稿提出期間：1月22日12:00～2月12日14:00**

PDF原稿を作成する際は、PDFをプリントアウトする等、文字、  
写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。

（注意事項）

①講演概要のデジタル化に伴い全ての一般講演は、大会1ヶ月前  
にWEB公開されます。また、大会終了の2ヶ月後にJ-Stageで  
公開されます。講演概要への非掲載やJ-Stageでの非公開を希  
望する講演はいっさい受付いたしません。

②上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと受付システムの  
利用はいっさい不可能となります。時間に余裕を持ってご利用  
ください。なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。

③原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファ  
イルサイズの上限は、3MBです。

PDFファイル作成のためには、PDFファイル作成専用ソフト  
Adobe Acrobat（4.0以上のバージョン）をご利用下さい。無料  
配布ソフトAdobe ReaderではPDFファイル作成ができません  
ので、ご注意ください。

④PDF原稿提出時に申込時の受付番号とパスワードが必要にな  
りますので忘れずに保管してください。

## 平成27年度春季全国大会「研究発表」講演募集

申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださる  
ようお願いいたします。

原稿締切から概要発行までぎりぎりの時間しかありませんの  
で、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら講演をお断りす  
ることになりますのであらかじめご了承ください。また、プログラ  
ム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集  
にはその旨記載され、その部分ブランクのまま発表されますので  
ご了承ください。

◇————◇

平成27年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますの  
で、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従  
ってお申込ください。

開催期日：平成27年4月22日（水）、23日（木）、24日（金）

開催場所：学術総合センター（東京都千代田区）

### —講演申込募集—

1. 申込期間：平成26年11月20日（木）12:00～  
平成26年12月11日（木）14:00
2. 講演資格：講演者は正員（学生員も認める）でなければなり  
ません。共著者はその限りではありません。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして、画面上からお  
申し込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同  
一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。  
◎講演登録料：1件について8,000円をご納入ください。送  
金は銀行振込でお願いいたします（振込口座は申込受付時  
にメール送信いたします）。登録料は講演申込が取り消され  
ても返却いたしませんのでご了承ください。

◎受付済通知：受付番号が発行されますのでパスワードと  
ともに保管しておいて下さい。

※大会参加費は下記料金を大会当日、現金にてお支払い下さ  
い。

（円）

会 員 区 分		講演登録料	大会参加費 (講演概要の閲覧・取得を含む)
個人会員	正 員	8,000円（税込）	10,000円（不課税）
	学生員		5,000円（不課税）
賛 助 員		発表不可	10,000円（不課税）
非 会 員	学生以外	発表不可	20,000円（税 込）
	学 生		10,000円（税 込）

4. 原稿（PDF）提出期間：  
平成27年1月22日（木）12:00～2月12日（木）14:00
5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従  
って作成してください。
6. 発表時間：講演10分、討論5分
7. 講演申込の確認：申込を受付ますとただちに受付番号を  
送信いたします。
8. 講演申込の取り消しについて  
講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プロ  
グラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を  
及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。  
※PDF（原稿）作成の場合は、事前に解像度を確認してください。

## 溶接学会全国大会講演分類

分類記号・番号	内 容	備 考	分類記号・番号	内 容	備 考	
I	溶接プロセス (含機器)			新材料接合部の諸特性 セラミックス 複合材料 機能材料 高分子材料 その他：新素材開発		
	1 溶融溶接 (1)：アーク溶接，ガス溶接					7
	2 溶融溶接 (2)：高エネルギービーム溶接					8
	溶接技術の新しい展開					9
	3 新溶接技術					10
	4 新熱源開発，応用					11
II	5 加工技術		IV	溶接・接合部の強度・破壊と設計 溶接・接合部の応力 溶接・接合部の静的強度 破壊靱性，き裂（発生，進展） 疲労強度，疲労き裂 環境強度，クリープ 溶接・接合設計（強度計算など） 信頼性，安全性評価 劣化診断，寿命予測 その他		
	6 その他					1
	制御・システム工学，溶接・接合技術の 各産業分野への展開					2
	1 センサー，モニタ，計測技術					3
	2 インプロセス制御技術，品質制御技術					4
	3 ロボット工学・技術					5
	4 自動化，システム化技術					6
	5 CAD，CAM，FA					7
	6 製品開発					8
	7 生産，製造，施工，組立など					9
	8 その他：新技術，新システムなど					
	品質保証，施工管理					V
9 品質保証，工程設計など		1				
10 安全・衛生，教育，訓練		2				
11 非破壊検査，同機器		3				
12 その他：生産設備など		4				
金属材料の溶接・接合部，表面改質部の特性 (含鋼材，溶接材料など)		5				
III	1 溶接・接合部，表面改質部の物理化学		6			
	2 溶接・接合部，表面改質部の組織及び機械的性質		7			
	3 耐食性，耐環境性		8			
	4 低温割れ，高温割れ，応力腐食割れなど		9			
	5 気孔，スラグ巻き込みなどの欠陥		10			
	6 その他		11			

## 全国大会講演概要原稿執筆要領 — PDF 原稿のみとなります。—

概要原稿 (テンプレート) が本会ホームページに用意されていますのでご利用ください。

講演概要は，提出された原稿をそのまま掲載しますので，原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお，この要領に記載していない事項については，「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

### 1. 原稿用紙

本会所定 (又は，指定フォーマット) のものに限りま。

1 ページ目は，題目，勤務先 (研究場所)，氏名，英文タイトル，英文著者名，キーワード，本文などの記入用の用紙 (A) を使用してください。

### 2. 原稿の長さ

題目 (和英両文)，勤務先，著者名 (和英両文)，キーワード (和英両文) 本文，図表及び写真を含めて，原稿用紙 2 枚 (A, B) にできるだけ余白を残さず書いてください。

字数は，40 字×37 行×2 枚=2,960 字 (タイトル等に約 360 字，本文は約 2,600 字) です。

### 3. 原稿の書き方

#### イ. 題目，勤務先，著者名，キーワード

原稿用紙 (A) の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

(副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いのないように記載して下さい)

著者連名の場合，講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は，次の例のように書いてください。  
Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労

Keywords: arc, plasma, physics

### ロ. 本文

原稿用紙 (A) 12 行目から (B) いっぱいに原稿用紙のコマに合わせて黒色で書いてください。また，用紙の枠いっぱいにコマ数 (40 字×37 行) だけ打ってください。(全体の字数が超過しなければ，行数，一行の字数の多少の変動はかまいません) オフセット印刷であることを考えて，文字，図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては，概要集全体の体裁を考えて，行頭，端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは，大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意ください。

大体，原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりきれになります。

### ハ. 図表及び写真

図表及び写真は，関連する本文の近い場所に貼付してください。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意ください。

図表及び写真には，Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し，表題，説明 (Caption) は英文で書いてください。(写真は Photo でなく Fig. としてください)

**4. 校正**

校正は（著者、編集者とも）いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

**5. 原稿の提出**

提出期間内に PDF（原稿）を学会ホームページよりアップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。

〔原稿見本〕

<p>12pt, 明朝体</p> <p>プラズマ溶接の研究</p>	
<p>10.5pt</p> <p>日本工科大学 ○秋山 冬彦 世界電機 夏川 春樹</p>	
<p>10.5pt</p> <p>Study on Plasma Welding</p>	
<p>10.5pt</p> <p>by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa</p>	
<p>キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労    Keywords: arc, plasma, physics</p>	
<p>本文（12行目から）→</p> <p style="text-align: right;">10.5pt</p> <p>本研究は、プラズマジェットを用いる溶接法について……</p>	
<p>↑</p> <p>1～2字アケル</p>	

## ● Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and published as “Preprint of the National Meeting of JWS”.

**1. Manuscript papers**

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

**2. Length of manuscripts**

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

**3. Instruction for preparation**

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A.

Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

**4. Proofreading**

Proofreading is not given by the editor

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR  
OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE  
PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering  
Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

## INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major fact

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

## 全国大会講演プログラム校正の電子化について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化 (PDF 化) し、ホームページ上での校正刷りの閲覧をしますので、ご協力のほどお願いいたします。

記

## 1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛に E メールにてご通知いたします。(校正刷りの郵送はいたしません。) 万一事故等により E メールが未着の場合にも、3 月初旬には開示いたしますのでご利用ください。

## 2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー。バージョン 4.0 以上 (ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応)

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produkt/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダー バージョン 3.0 の方は 4.0 にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

## 4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX (03-5825-4331) にて送信ください。E メールでの送信はご遠慮ください。

## 5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp

## 全国大会における液晶プロジェクターの利用について

全国大会運営委員会

今春季全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守ください。

なお、パソコンは、発表者が各自ご持参ください。

記

全国大会運営委員会で準備する機器

1) 液晶プロジェクタ

発表者の準備するもの

- 1) パソコン
- 2) パワーポイントで作成した発表用のファイル

※休憩時間の間にパソコンの動作確認をしてください。

※講演中の操作は講演者側でお願いします。

## 平成 27 年度春季全国大会フォーラム講演募集

**主 題：**溶接・接合プロセスの先進可視化・シミュレーション  
技術一次代を拓くデジタル技術の最前線

**座 長：**児玉真二（新日鐵住金株）、田中 学（大阪大学）

**趣 旨：**

近年、生産のグローバル化が進められる中、生産の基幹技術としての溶接・接合技術に求められるものも変化してきている。これまで、溶接・接合プロセスにおける高効率化・高機能化などが技術開発における重要な課題の一つとして取り組まれてきたが、更なる次世代の溶接・接合プロセスを創造するためには、今までの視点とは違う位置から現象を捉え、その本質を理解し、まったく新しい発想で技術開発に取り組む姿勢が必要である。そのためには、現象面からの解析を深化させる可視化技術と、本質をモデル化するためのシミュレーション技術が非常に重要となっている。

周知のとおり、近年のデジタル技術の進歩は目覚ましい。取り分け、高速度ビデオカメラや計測機器に代表されるように、溶接・接合プロセスで生じる現象の「可視化」技術には目を見張るものがある。今まで見えなかったものが見えるようになったときのインパクトは極めて大きく、現象を支配している自然法則を瞬間的かつ直感的に捉えることができる可能性を秘めている。溶接・接合プロセスに携わる研究者や技術者は、日常の観察や計測を通じて、対象とするプロセスのメカニズムや現象の本質に迫る仮説を持っている。今まで見えなかったものが見えるということは、パズルの最後のピースを埋めるかのように、仮説から真実への一歩を後押ししてくれる。あるいは、考えてもいなかった自然法則の美しさに出会う機会も与えてくれるだろう。「可視化・シミュレーション」はあらゆる溶接・接合現象に通じる、重要なキーワードである。従来のようなプロセス、材料、力学など個々の学問・知見が深化するだけでなく、相互が簡単に連携できる機会を生み出

してくれることも魅力である。先進可視化・シミュレーション技術で溶接・接合科学の未踏領域を切り開き、そこでつかみ取った貴重な情報を革新的な溶接・接合技術の開発に繋げる。可視化・シミュレーションは、今後の溶接・接合科学技術の発展のための極めて強力なツールと言える。

本フォーラムでは、溶接・接合プロセスの先進可視化・シミュレーション技術をテーマに取り上げ、それにデジタル技術をキーワードとして加えることにより、我が国の溶接・接合プロセス開発の最前線を認識するとともに、グローバル化の潮流を生き、革新的な次代の溶接・接合プロセス技術を拓くための課題とその展望について討議する。

### 記

**予定討議内容：**

1. 可視化・シミュレーション技術の現状
2. 可視化技術の展望
3. シミュレーション技術の展望
4. 教育・訓練支援技術の展望
5. 総合討論

**日 時：**平成 27 年 4 月 23 日（木）（大会 2 日目）  
13:00～17:00（予定）

**会 場：**学術総合センター（東京都千代田区一ツ橋）

**申込方法：**著者名、タイトル、概要（200 字程度）、所属、連絡先を明記し、Fax(03-5825-4331)にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

**申込締切日：**平成 26 年 11 月 3 日（月）

**講演採否：**直接申込者に連絡いたします。

**講演論文原稿送付締切日：**平成 27 年 2 月 3 日（火）

## WEB 掲載の溶接学会論文集 32 巻（平成 26 年度）の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成 19 年 1 月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にて WEB 版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成 26 年 11 月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集 32 巻（平成 26 年度）

**価 格：**溶接学会会員特価 7,500 円／年 1 冊（外税）

**送 料：**500 円（外税）

**発行時期：**平成 27 年 1 月下旬頃

**送 付 先：**学会誌発送登録先

**【申込先】**

申込時に「会員番号」「お名前（会員名）」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAX にてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

**F A X：**03-5825-4331

**申込締切：**平成 26 年 11 月 30 日

**入金締切：**平成 26 年 12 月 31 日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社（TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815）へ直接ご注文下さい。

定価 15,500 円／冊 税込・送料別

会員以外の方の申込締切：平成 27 年 3 月 31 日

## 一般社団法人溶接学会 年会費改定について

一般社団法人溶接学会会員種別及び入退会等規程第9条別表  
年会費を下表のとおり改定することになりました。  
(平成26年4月23日通常総会にて議決)

会員種別	現 行		改 定	
	年会費	入会金	年会費	入会金
正 員	12,000 円 (終身会員は免除)	1,000 円	13,000 円 (終身会員は免除)	1,000 円
賛助員	1口40,000 円 (口数制限なし)	なし	1口42,000 円 (口数制限なし)	なし
学生員	6,000 円	1,000 円	6,000 円	1,000 円

※年会費改定の実施は、平成27年度年会費納付分からとします。

### 【改定理由】

消費税の課税率が、平成26年4月から5%→8%に引き上げられ、平成27年10月からは8%→10%に引き上げられる見通しです。それに伴う経常費用の増加ならびに収支の悪化に対応するため、正員および賛助員の年会費を改定致したいと思えます。今後とも学会活動の活性化、若手研究者・技術者の育成強化、会員サービスの向上に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 国際溶接学会 (IIW) グランジョン賞の応募について

IIWでは、大学院生あるいは同年代の若い研究者による論文(単独著)を対象としたグランジョン賞を制定し、募集しております。この賞は、IIW科学技術幹事 H.Granjon 氏(仏)を記念したもので、若手研究者の溶接研究への関心を高めることを目的としています。

受賞候補論文は下記の要領により、1国から3分野3論文(1分野1論文)まで応募できます。

奮ってご応募ください。

### 申込要領:

次の事項を記載し、全論文(和英何れでも可)を付して、メールにて期日までにお申し込みください。

- (1) 著者名及び年齢
- (2) 学位(学士、修士、博士など)

(3) 論文を著作した時期及び職名

国内申込先及び締め切り日: 2014年10月11日

申込先(連絡先): 日本溶接会議(JIW) 石丸賢二

email: ishmaru@tg.rim.or.jp

TEL: 03-5825-4073

### 国内審査:

応募いただきました論文を国内審査し、11月初旬までにIIW本部宛、JIW事務局より申し込みます。なお、国際溶接学会(IIW)での発表実績を重視して審査します。審査に合格した論文は著者にて英文に翻訳(10ページ程度、10月31日までに)していただきますので、あらかじめご用意くださいますようお願いいたします。

授賞式は、2015年フィンランド大会になります。

## 第42回溶接学会東部支部実用溶接講座(見学会 & 講演会)

IIW資格制度特認コース: J-ANB 認定講座  
ISO14731/WES8103 溶接管理技術者資格制度:

再認証審査小委員会認定講座

「鉄道車両製造工場見学と車両製造における最新の溶接技術」

主 催: (社)溶接学会 東部支部  
共 催: (社)溶接学会 東部支部-神奈川県地区委員会  
協 賛: 日本溶接協会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本材料学会, 日本鉄鋼協会, 日本鋼構造協会, 日本ロボット学会, ステンレス協会, 軽金属溶接協会, 日本非破壊検査協会, 腐食防食協会, 日本溶接技術センター, 日本工業出版, 産報出版  
(順不同, 含依頼中)

### 趣 旨:

日常の社会生活に欠かせない鉄道車両や自動車などの輸送機器では、ますます軽量化、高性能化などが重要な課題となっている。これらの輸送機器の製造においては、品質確保およびコスト低減などの点から、ステンレス材や合金の溶接技術の研

究開発成果が大きく貢献している。本講座では、鉄道車両製造方法について工場見学するとともに、車両製造に適用される溶接・接合方法についての解説、およびステンレス材や合金材に適した溶接方法などに関する最新技術動向を紹介する。

溶接技術に関係する方々はもとより、車両工場を見学できる機会としても、幅広く多くの方のご参加をお願い申し上げます。

開催日時: 2014年10月31日(金)

開催場所: 株式会社総合車両製作所 横浜事業所

(〒236-0043 横浜市金沢区大川3番1号)

定 員: 50名(先着受付順, 定員に達した時点で締め切らせて頂きます。なお、同業他社の方のご参加はご遠慮願います)

参加費: 溶接学会員(賛助会員含む)9,000円,

非会員13,000円, 学生4,000円

(テキスト代・昼食代を含む)

申込締切: 平成26年10月22日(水) ※参加費振込み締切

**申込方法：**必要事項（末尾の申込書式参照）を記入の上、電子メール、または FAX で申し込み下さい。申し込み後、返信メールなどで仮参加受付を確認後、以下の銀行に上記参加費を振り込み願います。振り込み確認後、正式な参加受付確定としますので、原則として上記締切日までに振り込み願います。（振り込み手数料は各自ご負担願います）

[振込先]

みずほ銀行 大岡山支店（支店番号：145）

普通預金 口座番号：2176706

名義：溶接学会東部支部

**申込先：**東京工業大学大学院 理工学研究科 国際開発工学専攻 高橋研究室 三田尾

e-mail: jwseast@ide.titech.ac.jp

Fax: 03-5734-3915

#### 受講ポイント：

（取得ポイントの詳細につきましては、溶接学会のホームページの会告をご参照願います）

- ① IIW 溶接技術者資格 特認コース履修ポイント
- ② ISO14731/AVES8103 溶接管理技術者 再認証クレジットポイント

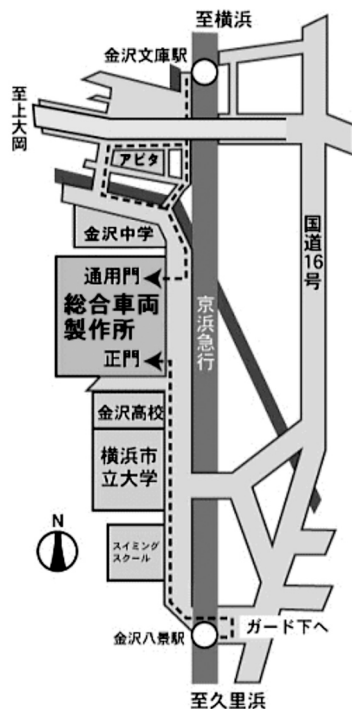
#### ■集合

集合場所：株式会社総合車両製作所 横浜事業所 通用門 付近  
（京浜急行 金沢文庫駅 下車 徒歩約 8 分）

集合時刻：9:50

（電車参考）京浜急行 品川駅 8:47（特急・三崎口行）  
— 金沢文庫駅 9:34

なお、お車でのご参加はご遠慮ください。



京浜急行 金沢八景駅下車 北へ徒歩7分(正門)  
京浜急行 金沢文庫駅下車 南へ徒歩8分(通用門)

#### プログラム

- (1)10:00~10:10 開会の挨拶（東部支部支部長）
- (2)10:10~11:20 「次世代軽量車両に向けた難燃性 Mg 合金の溶接・接合」

公益財団法人 鉄道総合技術研究所 森 久史 氏

鉄道車両のより一層の省エネルギー化を目標として車両構体の軽量化が強く望まれており、車両構体への難燃性マグネシウム合金の適用が考えられている。本発表では、新幹線電車の構体軽量化に関する技術を振り返りながら、材料及び接合技術について解説する。また、アルミニウム合金製車両の次世代軽量車両の開発に向けて難燃性マグネシウム合金の研究開発に取り組んでおり、その内容について現状と将来課題について紹介する。

- (3)11:20~12:30 「アルミ溶接構造物に観る溶接技術の変遷と今後の課題」

一般社団法人 軽金属溶接協会 笹部 誠二 氏

ここ半世紀におけるアルミの溶接構造物の適用例を、溶接技術の観点からその流れを振り返ると同時に、その現状ならびに今後の課題について紹介する。

- (4)12:30~13:30 昼食休憩（お弁当をご用意します。弁当は参加費に含む）

- (5)13:30~14:40 「次世代ステンレス車両の製造ラインの溶接技術」

株式会社総合車両製作所 生産本部 技術部接合技術センター  
渥美 健太郎 氏

総合車両製作所(略称：J-TREC)ではこれまで、前身の東急車両製造時代より主力製品であるステンレス車両の開発に力を注いできた。近年、首都圏の通勤車両はステンレス車両とアルミ車両がほとんどを占めている。今後のステンレス車両市場拡大のためには、ユーザーにとってアルミ車両に勝る付加価値・機能を求められてゆくことが想定される。こういった背景から、2010年度より新しい技術を用いたステンレス車両「sustina®」の開発・試作・製造を行ってきた。本発表では、開発した接合技術等について解説する。

- (6)14:40~14:55 休憩
- (7)14:55~16:30 株式会社総合車両製作所 横浜事業所 見学会  
見学会にあたっては制約事項（撮影および触手禁止、携帯電話の携行禁止など）があります。

また、一部が非公開となる場合があります。

- (8)16:30~16:50 質疑応答
- (9)16:50~17:00 閉会の挨拶（東部支部副支部長）



## ■申込書式

## 第42回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会&amp;講演会）申込書

(申込日： 月 日)

●受講者名（漢字&amp;ふりがな）： \_\_\_\_\_

●会員資格（○をつけて下さい）：          ・正会員 ・賛助会員 ・学生 ・非会員●参加費請求書（○をつけて下さい）：          ・要 ・不要

●勤務先／会社名・所属部課名 または通学先／大学名・所属学部学科名

\_\_\_\_\_

●勤務先／通学先の連絡先

・住所： \_\_\_\_\_

・E-mail： \_\_\_\_\_ 電話： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

## 平成 26・27 年度編集委員

(委員長) 佐藤 嘉洋 (副委員長) 才田 一幸

(委員) 青木 篤人, 石崎 圭人, 池上 祐一, 池田 倫正, 伊藤 和博, 猪瀬幸太郎, 尾花 健, 河西 龍,  
茅野 林造, 桐原 聡秀, 栗原 繁, 柴原 正和, 中谷 光良, 西川 宏, 廣田 幸伯, 福本 学,  
藤井 啓道, 富士本博紀, 三瓶 和久, 峯村 敏幸, 迎井 直樹, 妻鹿 雅彦, 山本 元道

## 溶接学会誌 第83巻 第6号

平成 26 年 9 月 1 日 印刷

平成 26 年 9 月 5 日 発行

編集兼発行者 石 丸 賢 二  
東京都千代田区神田佐久間町 4 丁目 20 番地印刷者 日本印刷出版株式会社  
大阪市福島区吉野 1 の 2 の 7

発行所 一般社団法人 溶 接 学 会

〒 101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4 丁目 20 番地

電話 03 (5825) 4073

FAX 03 (5825) 4331

振替口座 00180-7-143434 番

ホームページ <http://jweld.jp/>